

2025年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔SFRS〕（連結）

2024年11月14日

上場会社名 オムニ・プラス・システム・リミテッド

上場取引所 東

コード番号 7699 URL <http://www.ops-sys.com>

代表者 (役職名) 最高経営責任者 (Chief Executive Officer) (氏名) Neo Puay Keong

問合せ先責任者(役職名) 株式会社OMNI-PLUS SYSTEM Japan 代表取締役社長 (氏名) 重田 直行 (TEL)03-6841-3922

半期報告書提出予定日 : 2024年12月13日

配当支払開始予定日 -

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 有

1. 2025年3月期第2四半期（中間期）連結業績(2024年4月1日～2024年9月30日)（千米ドル、百万円未満四捨五入）

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年中間期増減率)

	売上収益		売上総利益		税引前 中間利益		中間利益		親会社の所有者 に帰属する 中間利益		中間包括利益 合計額	
	千米ドル (百万円)	%	千米ドル (百万円)	%	千米ドル (百万円)	%	千米ドル (百万円)	%	千米ドル (百万円)	%	千米ドル (百万円)	%
2025年3月期 中間期	198,261 (28,298)	27.3	28,453 (4,061)	40.2	14,418 (2,058)	92.0	11,849 (1,691)	77.5	11,849 (1,691)	77.5	13,099 (1,870)	108.3
2024年3月期 中間期	155,715 (22,225)	△13.0	20,294 (2,897)	△11.5	7,508 (1,072)	△20.2	6,677 (953)	△12.1	6,677 (953)	△12.1	6,288 (898)	△8.0

	基本的1株当たり中間利益	希薄化後1株当たり中間利益
	米ドル (円)	米ドル (円)
2025年3月期 中間期	0.5627 (80.31)	0.5627 (80.31)
2024年3月期 中間期	0.3171 (45.26)	0.3171 (45.26)

(注)「基本的1株当たり中間利益」及び「希薄化後1株当たり中間利益」は、「中間利益」を基に算定しています。
株式発行の詳細に関しては、注意事項(3)をご参照下さい。

(2) 連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率
	千米ドル (百万円)	千米ドル (百万円)	千米ドル (百万円)	%
2025年3月期 中間期	264,006 (37,682)	86,970 (12,413)	86,970 (12,413)	32.9
2024年3月期	206,663 (29,497)	75,766 (10,814)	75,766 (10,814)	36.7

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 の中間残高
	千米ドル (百万円)	千米ドル (百万円)	千米ドル (百万円)	千米ドル (百万円)
2025年3月期 中間期	△3,462 (△494)	△9,073 (△1,295)	24,282 (3,466)	75,530 (10,780)
2024年3月期 中間期	6,927 (989)	51 (7)	△7,098 (△1,013)	28,618 (4,085)

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	第4四半期末	合計
	米ドル (円)	米ドル (円)	米ドル (円)	米ドル (円)	米ドル (円)
2024年3月期	—	0.09 (12.85)	0.15 (21.41)	—	0.24 (34.26)
2025年3月期 (注2)	—	0.09 (12.85)	0.18 (25.69)		
2025年3月期 (予想)				—	—

(注1) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

(注2) 詳細は、2024年6月14日付及び2024年11月14日付「剰余金の配当に関するお知らせ」を参照願います。

()の日本円は、為替レートに基づく換算値であり、JDR受益者への円建て分配金とは異なります。

3. 2025年3月期の連結業績予想(2024年4月1日～2025年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上収益		売上総利益		税引前利益		当期利益		親会社の所有者 に帰属する 当期利益		基本的1株 当たり当期利益	
	千米ドル (百万円)	%	千米ドル (百万円)	%	千米ドル (百万円)	%	千米ドル (百万円)	%	千米ドル (百万円)	%	米ドル (円)	%
2025年3月期 通期	368,600 (52,610)	18.8	45,200 (6,451)	12.4	16,600 (2,369)	16.3	13,800 (1,970)	31.5	13,800 (1,970)	31.5	0.6553 (93.531)	31.5

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

① SFRSにより要求される会計方針の変更：無

② ①以外の会計方針の変更：無

③ 会計上の見積りの変更：無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行株式数(自己株式を含む)	2025年3月期中間期	21,057,844株	2024年3月期	21,057,844株
② 期末自己株式数	2025年3月期中間期	0株	2024年3月期	0株
③ 期中平均株式数(中間期)	2025年3月期中間期	21,057,844株	2024年3月期中間期	21,057,844株

※ 第2四半期(中間期)決算短信は、公認会計士又は監査法人によるレビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等を保証するものではありません。実際の業績は、主要市場の経済情勢の変化や為替の変動など様々な要因により、予想とは大きく異なる結果となる可能性があります。

本書において便宜上記載されている日本円の換算は、別段の記載がある場合を除き、1米ドル=142.73円

(2024年9月30日現在の株式会社三菱UFJ銀行の対顧客電信直物売買取相場の仲値)により計算されています。

○添付資料の目次

1. 定性的情報.....	1
(1) グループ事業概要.....	1
(2) グループ経営成績概要.....	1
(3) 今後の見通し.....	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方.....	3
3. 定量的情報.....	4
(1) 要約中間連結財政状態計算書.....	4
(2) 要約連結純損益及びその他の中間包括利益計算書.....	5
(3) 要約中間連結持分変動計算書.....	6
(4) 要約中間連結キャッシュ・フロー計算書.....	8
(5) 中間連結財務諸表に関する注記事項.....	9

1. 定性的情報

(1) グループ事業概要

オムニ・プラス・システムグループ(当社グループ)は、エンジニアリング・プラスチックを軸に、顧客のニーズに応じたカタログ販売や汎用品(ジェネリック)の販売を行うエンジニアリング・プラスチックの流通事業と、顧客ニーズにより深く関与して、高耐久・高耐熱、デザイン性を有する樹脂コンパウンド(混合、着色等)を行う開発・製造事業を行っています。

2024年9月末現在、当社グループは、シンガポール国内外の連結子会社25社、ジョイント・オペレーション(共同支配事業)1社、及び持分法適用会社2社で構成されています。

それぞれの事業の内容及び特徴は、次のとおりであります。当社グループの事業はエンジニアリング・プラスチック事業の単一セグメントとなっています。

①流通事業

原則として当社のエンジニアリング・センター機能及び当社グループによる高機能エンジニアリング・プラスチックのコンパウンド(混合、着色等)を介さない製品の流通であり、その多くは汎用品(ジェネリック)の販売として、売上収益の67%を占めています。

②開発・製造事業

当社グループは、最終顧客(ブランドメーカー)が生産する家庭用電気機器、電子機器、OA機器、自動車、通信関連機器、医療機器等の製品において、筐体や内蔵部品等の部品用途のニーズに対応した素材の耐久性、耐熱性等に優れた高機能エンジニアリング・プラスチックの開発を行うほか、最終顧客(ブランドメーカー)との共同研究、さらには、A*STAR(シンガポール科学技術研究庁)及びシンガポールの各種研究機関との共同研究を行っています。

さらに、マレーシア(ジョホール・バル)の製造子会社 Nihon Pigment Sdn. Bhd. において、最終顧客(ブランドメーカー)のニーズに基づく高耐久性、高耐熱性、或いはデザイン性を有した高機能エンジニアリング・プラスチックのコンパウンド(混合、着色等)品の製造・供給を行っています。

(2) グループ経営成績概要

財政状態計算書

資産

資産合計は、前連結会計年度末と比較して57.3百万米ドル増加しました。この増加は、主に売掛金及びその他の債権(その他の売上債権を含む)が14.5百万米ドル、非流動資産が12.3百万米ドル、棚卸資産が17.0百万米ドル、現金及び現金同等物が13.5百万米ドル増加したことによるものです。

売掛金及びその他の債権の増加は、主に前連結会計年度末時点と比較して、回収時期の影響があることと、さらに2024年3月期第2四半期の売上収益(88.6百万米ドル)と比較して、当第2四半期の売上収益(98.8百万米ドル)が増加したことによるものです。

棚卸資産の増加は、主に販売計画の拡大によるものであり、一部は当第1四半期の子会社買収によるものです。

現金及び現金同等物の増加は、主に財務活動によるキャッシュ・フローが増加によるものです。これは、新規の有利子負債による収入が主な要因であり、営業活動及び投資活動によるキャッシュ・フローの減少と相殺されています。

負債

負債合計は、前連結会計年度末と比較して、46.1百万米ドル増加しました。この増加は、主に買掛金及びその他の債務が4.1百万米ドル、有利子負債が41.2百万米ドル及び未払税金が0.7百万米ドル増加したことによるものです。

買掛金及びその他の債務の増加は、主に前連結会計年度末時点と比較して、当中間期末時点での支払時期の違いによるものです。有利子負債の増加は、貿易金融の増加と当中間期に取得した2件の新規タームローンによるものです。これらは主にキングジョージアベニューでの不動産購入資金、及びKyohei DS Pte Ltdの買収のためのM&Aローンの引き出しに充てられています。なお、当社グループは買収後もローンの引き出しが認められています。

資本

資本合計は、前連結会計年度末の75.7百万米ドルから11.2百万米ドル増加し、86.9百万米ドルとなりました。この増加は、主に当中間期の利益剰余金が11.2百万米ドル増加したことによるものであり、1.9百万米ドルの配当金の支払いにより一部相殺されています。

損益計算書

当中間連結会計期間の売上収益は、198.3百万米ドルとなり前年同期比27.3%の増収となりました。この増収は、主に顧客需要の増加と新たに買収した子会社のInternational Material Supplier Co., Ltd (IMS社) 及びその子会社の売上収益が17.5百万米ドル寄与したことによるものです。売上総利益率は14.4%と前年同期の13.0%から上昇しました。これは、主に高価格戦略によるものです。

売上総利益は、前年同期の28.4百万米ドルに対し、当中間期では20.3百万米ドルとなりました。中間利益は、前年同期の6.7百万米ドルから11.8百万米ドルとなりました。中間利益の増加は、主に売上総利益の増加とその他の営業費用の減少が販売費、金融費用及び税金費用の増加と部分的に相殺されたことによるものです。

営業費用(販売費、管理費及びその他の営業費用)は、前年同期の11.6百万米ドルから1.9百万米ドル(16.2%)増加して、13.5百万米ドルとなりました。

金融費用は、3.0百万米ドルとなり、前年同期の2.0百万米ドルから52.1%の増加となりました。この増加は、主にシンガポールにおける銀行金利の上昇、2件の新規タームローンの取得、及び銀行の貿易金融枠の利用増加によるものです。

その他の収益は、前年同期の0.7百万米ドルから2.1百万米ドル(315.1%)増加し、2.8百万米ドルとなりました。これは主に、当中間期にFRBによる利下げ後、マレーシアリングギット(MYR)及びインドネシアルピア(IDR)が米ドルに対して上昇したことによる為替差益によるものです。

税金費用は、前年同期の0.8百万米ドルから209.3%増加して2.6百万米ドルとなりました。これは主に、2024年度にシンガポール政府による税制優遇措置が終了したため、当中間期の利益実績に対して税制優遇措置が適用されなかったことによるものです。

キャッシュ・フロー計算書

2024年9月30日現在における現金及び現金同等物は、前年同期末の46.9百万米ドルから28.6百万米ドル増加し、75.5百万米ドルとなりました。また、2024年9月30日現在の定期預金額は、4.9百万米ドルです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、3.5百万米ドルの支出となりました。運転資本増減考慮前営業利益は、20.1百万米ドルとなりましたが、21.6百万米ドルの運転資本のマイナス変動と1.9百万米ドルの法人所得税の支払により一部相殺されました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、9.1百万米ドルの支出となりました。その主な内訳は、有形固定資産の取得による支出が5.5百万米ドル、子会社取得による支出が4.1百万米ドルです。これらは当中間期に受け取った利息の受取額0.6百万米ドルにより一部相殺されました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、24.3百万米ドルの収入となりました。これは主に、有利子負債による収入が30.4百万米ドルである一方、配当金の支払1.9百万米ドル、利息の支払2.8百万米ドル、担保に供されている定期預金の増減額1.2百万米ドル、及びリース負債の支払0.2百万米ドルによって一部相殺されました。

(3) 今後の見通し

2025年3月期通期の業績予想は、売上収益を368.6百万米ドル(前年同期比18.8%増)、当期利益を13.8百万米ドル(前年同期比31.5%増)としています。

2025年3月期は、ASEAN市場への継続的な拡大が当社グループの主要な戦略となっています。

当中間期の売上収益は好調でしたが、経営陣は2025年3月期における売上収益及び利益水準の向上に対して慎重でありながらも自信を持っています。この自信は、顧客による新製品の投入や、北米及びASEAN市場における当社グループの市場拡大が引き続き進展していることに強く基づいており、これが売上収益目標達成の主要な戦略となっています。さらに、本年4月に台湾のIMS社を買収したことで、大中華圏での顧客基盤の拡大が期待されています。

しかし、経営陣は、進行中の世界的な紛争(ウクライナ紛争やイスラエルとハマスの衝突など)や地政学的な緊張(米国大統領選挙後の潜在的な貿易戦争など)が再びサプライチェーンに影響を及ぼし、多くの国や地域で運営コストが上昇する可能性があることを認識しています。FRBは2024年9月に大幅な利下げを発表し、11月にも0.25%の追加利下げを行いました。世界的な金利は依然として高水準で推移しており、2025年3月期下半期も金利の高止まりが続く見込みです。これにより、全体的な資金調達コストの上昇が懸念されます。

当社は、これらの影響が2025年3月期を通じて継続すると予想しており、市場の状況を引き続き注意深く監視しつつ、既存顧客と緊密に連携し、新たな市場や潜在的な顧客との取引機会を模索してまいります。また、コスト管理も重要な課題と位置付けて取り組んでまいります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社は、一般に公正妥当と認められた国際会計基準(IFRS)に準拠するシンガポール財務報告基準(SFRS)を採用しています。

3. 定量的情報

(1) 要約中間連結財政状態計算書

	前連結会計年度 (2024年3月31日)		当中間連結会計期間 (2024年9月30日)	
	千米ドル	百万円	千米ドル	百万円
資産				
有形固定資産	20,659	2,949	28,409	4,055
使用権資産	539	77	469	67
子会社への投資	-	-	-	-
ジョイント・オペレーションへの投資	-	-	-	-
関連会社株式	2,422	346	2,075	296
無形資産及びのれん	4,264	609	8,270	1,180
その他の売上債権	733	105	846	121
繰延税金資産	457	65	1,255	179
非流動資産	29,074	4,150	41,324	5,898
棚卸資産	38,116	5,440	55,073	7,861
売掛金及びその他の債権	72,461	10,342	86,991	12,416
現金及び現金同等物	67,006	9,564	80,468	11,485
派生金融資産	5	1	59	8
その他の投資	-	-	91	13
流動資産	177,588	25,347	222,682	31,783
資産合計	206,663	29,497	264,006	37,682
資本				
資本金	26,074	3,721	26,074	3,721
為替換算調整勘定	△ 919	△ 131	331	47
利益剰余金	50,611	7,224	60,565	8,644
親会社の所有者に帰属する持分	75,766	10,814	86,970	12,413
非支配持分	△ 0	△ 0	-	-
資本合計	75,766	10,814	86,970	12,413
負債				
その他の債務	204	29	215	31
長期有利子負債	11,711	1,671	24,673	3,522
繰延税金負債	431	62	401	57
非流動負債	12,346	1,762	25,290	3,610
買掛金及びその他の債務	54,627	7,797	58,705	8,379
短期有利子負債	59,517	8,495	87,732	12,522
未払税金	4,339	619	5,084	726
派生金融負債	68	10	225	32
流動負債	118,551	16,921	151,747	21,659
負債合計	130,897	18,683	177,036	25,268
資本及び負債合計	206,663	29,497	264,006	37,682

(2) 要約連結純損益及びその他の中間包括利益計算書

	前中間連結会計期間 (自2023年4月1日 至2023年9月30日)		当中間連結会計期間 (自2024年4月1日 至2024年9月30日)	
	千米ドル	百万円	千米ドル	百万円
売上収益	155,715	22,225	198,261	28,298
売上原価	△ 135,421	△ 19,329	△ 169,808	△ 24,237
売上総利益	20,294	2,897	28,453	4,061
その他の収益	684	98	2,090	298
販売費	△ 2,575	△ 367	△ 4,641	△ 662
管理費	△ 5,347	△ 763	△ 6,380	△ 911
その他の営業費用	△ 3,712	△ 530	△ 2,495	△ 356
金融費用	△ 1,927	△ 275	△ 3,019	△ 431
持分法による投資損益	148	21	△ 342	△ 49
税引前中間利益	7,508	1,072	14,418	2,058
税金費用	△ 831	△ 119	△ 2,569	△ 367
中間利益	6,677	953	11,849	1,691
中間利益の帰属：				
親会社の所有者	6,677	953	11,849	1,691
非支配持分	△ 0	△ 0	-	-
中間利益	6,677	953	11,849	1,691
その他の包括利益 純損益に振り替えられる 可能性がある項目：				
在外営業活動体の外貨換算差額	△ 381	△ 54	1,277	182
投資による外貨換算差額	△ 8	△ 1	△ 26	△ 4
その他の包括利益	△ 389	△ 56	1,250	178
中間包括利益	6,288	898	13,099	1,870
中間包括利益の帰属：				
親会社の所有者	6,288	898	13,099	1,870
非支配持分	△ 0	△ 0	-	-
中間包括利益	6,288	898	13,099	1,870

(3) 要約中間連結持分変動計算書

(単位：千米ドル()百万円)

グループ	会社の所有者に帰属する持分			合計	非支配持分	資本合計
	資本金	為替換算 調整勘定	利益剰余金			
2023年4月1日	26,074	△ 511	45,174	70,736	-	70,736
残高	(3,721)	(△ 73)	(6,448)	(10,096)	(-)	(10,096)
中間包括利益合計						
中間利益	-	-	6,677	6,677	△ 0	6,677
	(-)	(-)	(953)	(953)	(△ 0)	(953)
その他の包括利益						
外貨換算差額	-	△ 389	-	△ 389	0	△ 389
	(-)	(△ 56)	(-)	(△ 56)	(0)	(△ 56)
その他の包括利益 合計	-	△ 389	-	△ 389	0	△ 389
	(-)	(△ 56)	(-)	(△ 56)	(0)	(△ 56)
中間包括利益合計	-	△ 389	6,677	6,288	△ 0	6,288
	(-)	(△ 56)	(953)	(898)	(△ 0)	(898)
資本に直接認識される 所有者との取引額 所有者による拠出及び 所有者への分配						
配当金	-	-	△ 1,895	△ 1,895	-	△ 1,895
	(-)	(-)	(△271)	(△271)	(-)	(△271)
所有者による拠出及び 分配額合計	-	-	△1,895	△ 1,895	-	△ 1,895
	(-)	(-)	(△)	(△271)	(-)	(△271)
所有持分の変動						
非支配持分を持つ 子会社の取得	-	-	-	-	0	0
	(-)	(-)	(-)	(-)	(0)	(0)
所有持分の変動合計	-	-	-	-	0	0
	(-)	(-)	(-)	(-)	(0)	(0)
所有者との取引額合計	-	-	△ 1,895	△ 1,895	0	△ 1,895
	(-)	(-)	(△271)	(△271)	(0)	(△271)
2023年9月30日	26,074	△ 900	49,956	75,129	0	75,129
残高	(3,721)	(△ 129)	(7,130)	(10,723)	(0)	(10,723)

(単位:千米ドル()百万円)

会社の所有者に帰属する持分

グループ	資本金	為替換算 調整勘定	利益剰余金	合計	非支配持分	資本合計
2024年4月1日	26,074	△ 919	50,611	75,766	△ 0	75,766
残高	(3,721)	(△ 131)	(7,224)	(10,814)	(△ 0)	(10,814)
中間包括利益 合計						
中間利益	-	-	11,849	11,849	-	11,849
	(-)	(-)	(1,691)	(1,691)	(-)	(1,691)
その他の 包括利益						
外貨換算差額	-	1,250	-	1,250	-	1,250
	(-)	(178)	(-)	(178)	(-)	(178)
その他の 包括利益合計	-	1,250	-	1,250	-	1,250
	(-)	(178)	(-)	(178)	(-)	(178)
中間包括利益 合計	-	1,250	11,849	13,099	-	13,099
	(-)	(178)	(1,691)	(1,870)	(-)	(1,870)
資本に直接認識される 所有者との取引額						
配当金	-	-	△ 1,895	△ 1,895	-	△ 1,895
	(-)	(-)	(△ 271)	(△ 271)	(-)	(△ 271)
所有者による拠出及び 分配額合計	-	-	△ 1,895	△ 1,895	-	△ 1,895
	(-)	(-)	(△ 271)	(△ 271)	(-)	(△ 271)
子会社における 所有持分の変動						
支配権の変更を伴わない 非支配持分の取得	-	-	△ 0	△ 0	0	△ 0
	(-)	(-)	(△ 0)	(△ 0)	(0)	(△ 0)
所有持分の変動合計	-	-	△ 0	△ 0	0	△ 0
	(-)	(-)	(△ 0)	(△ 0)	(0)	(△ 0)
所有者との取引額合計	-	-	△ 1,895	△ 1,895	0	△ 1,895
	(-)	(-)	(△ 271)	(△ 271)	(0)	(△ 271)
2024年9月30日	26,074	331	60,565	86,970	-	86,970
残高	(3,721)	(47)	(8,644)	(12,413)	(-)	(12,413)

(4) 要約中間連結キャッシュ・フロー計算書

	前中間連結会計期間 (自2023年4月1日 至2023年9月30日)		当中間連結会計期間 (自2024年4月1日 至2024年9月30日)	
	千米ドル	百万円	千米ドル	百万円
税引前利益	7,508	1,072	14,418	2,052
調整:				
棚卸資産陳腐化引当金	627	89	△ 89	△ 13
無形資産償却費	242	34	242	34
棚卸資産の除却	△ 9	△ 1	△ 4	△ 1
有形固定資産の除却	-	-	0	0
有形固定資産償却費	529	76	656	94
使用権資産償却費	159	23	188	27
貸倒引当金戻入額(純額)	36	5	-	-
貸倒懸念債権の回収	-	-	△ 9	△ 1
有形固定資産売却益	△ 249	△ 36	-	-
関連会社の損益	△ 148	△ 21	342	49
受取利息	△ 58	△ 8	△ 596	△ 85
支払利息	1,985	283	3,019	431
未実現為替差損(差益)	△ 98	△ 14	1,936	276
運転資本の増減考慮前営業利益	10,523	1,502	20,103	2,869
運転資本の変動:				
-棚卸資産	13,535	1,932	△ 13,981	△ 1,996
-売掛金及びその他の債権	△ 30,959	△ 4,419	△ 4,964	△ 709
-買掛金及びその他の債務	15,241	2,175	△ 2,675	△ 382
営業活動によるキャッシュ・フロー 小計	8,340	1,190	△ 1,518	△ 217
法人所得税の支払額	△ 1,376	△ 196	△ 1,945	△ 278
営業活動によるキャッシュ・フロー	6,964	994	△ 3,462	△ 494
投資活動によるキャッシュ・フロー				
利息の受取額	58	8	596	85
有形固定資産の取得による支出	△ 509	△ 73	△ 5,478	△ 782
有形固定資産の売却による収入	451	64	-	-
関連会社への投資の増加	△ 360	△ 51	-	-
関連会社に対する債権の減少	-	-	△ 65	△ 9
非支配持分の変動	-	-	△ 0	△ 0
子会社取得(取得現金控除後)	374		△ 4,125	△ 589
投資活動によるキャッシュ・フロー	14	2	△ 9,073	△ 1,295
財務活動によるキャッシュ・フロー				
担保に供されている定期預金の増減額	153	22	△ 1,228	△ 175
取締役に対する報酬額の減額	-	-	-	-
有利子負債による収入	72,934	10,410	129,804	18,527
有利子負債の返済	△ 76,362	△ 10,899	△ 99,347	△ 14,180
リース負債の返済	△ 179	△ 26	△ 207	△ 30
配当金の支払額	△ 1,895	△ 271	△ 1,895	△ 270
利息の支払額	△ 1,747	△ 249	△ 2,843	△ 406
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 7,098	△ 1,013	24,282	3,466

現金及び現金同等物の増減額	△ 119	△ 17	11,747	1,677
現金及び現金同等物の期首残高	29,105	4,154	63,295	9,034
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 368	△ 52	487	70
現金及び現金同等物の中間残高	28,618	4,085	75,530	10,780

財務諸表における現金及び現金同等物の内訳

	前中間連結会計期間 (自2023年4月1日 至2023年9月30日)		当中間連結会計期間 (自2024年4月1日 至2024年9月30日)	
	千米ドル	百万円	千米ドル	百万円
財政状態計算書における 現金及び現金同等物	32,331	4,615	80,468	11,485
定期預金(担保付)	△ 3,713	△ 530	△ 4,939	△ 705
キャッシュ・フロー計算書における 現金及び現金同等物	28,618	4,085	75,530	10,780

(5) 中間連結財務諸表に関する注記事項

1. 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

2. 会計方針の変更

中間財務諸表の作成において採用された会計方針は、当社グループの2024年3月31日に終了した当社グループの年次財務諸表に採用され、記載されている会計方針と一致しています。

2024年4月1日に開始した当事業年度から適用されるFRS、及びFRSの改正及び解釈指針の適用は、当社グループの中間連結財務諸表に重要な影響を与えるものではありません。

3. セグメント情報

当社グループは「エンジニアリング・プラスチック事業」のみの単一セグメントであり、同事業以外に事業の種類がないため該当事項はありません。

4. 収益情報

製品区分ごとの収益

	前中間連結会計期間 (自2023年4月1日 至2023年9月30日)		当中間連結会計期間 (自2024年4月1日 至2024年9月30日)	
	千米ドル	百万円	千米ドル	百万円
ジェネリック (汎用) プラスチック	93,585	13,357	132,178	18,866
スペシャリティ (特殊) プラスチック	62,130	8,868	66,083	9,432
合計	155,715	22,225	198,261	28,298

5. 2025年3月期第2四半期における新規連結子会社

当第2四半期において、新たに以下の1社が子会社となりました。

Kyoei DS India Private Limited (2024年7月9日 新規設立：インド共和国)